



南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和2年8月7日

東久留米市立南中学校

校長 小川 高弘

当たり前のことを当たり前

校長 小川 高弘

3月の突然の臨時休業から、校庭での始業式・入学式、2か月間の臨時休業を経て、例年より3週間遅く終業式を迎えました。日常の学校生活は戻りつつありますが、例年、実施してきた多くの学校行事が、影響を受けています。

- 形式を変えて実施 始業式 入学式 新入生歓迎会 身体測定 生徒総会
全校朝礼 生徒朝礼 高校の先生の話聞く会(3)
- 延期 健康診断 運動会 合唱会
- 中止 離任式 音楽鑑賞教室(2) 職場体験(2) 進路説明会(3)
修学旅行 スキー教室

授業では、合唱、水泳、球技、調理実習、美術・技術・家庭の作品制作、理科の実験なども実施できていません。校外学習など上記以外の行事もどうなるかわからない状況ですが、家庭と学校がそれぞれで感染を予防し、南中に感染の波が入ってこないようにするしかありません。それでも、人が動けばウイルスも動きます。もしものときにも、連絡を密にし、適切に行動することが重要です。今後ご理解、ご協力をお願いいたします。

今日の終業式では、最近、感染症に関することばかりに注意が向き、これまで当たり前にしてきたことがおろそかになっていると言われている状況を踏まえて、1冊の本を紹介しました。

アメリカの哲学者ロバート・フルガムの著書、「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」という本です。初版は1990年、約30年前に書かれた本ですが、世界中で翻訳され、ベストセラーになっています。最近でも、内容が追加されて最新版が発行されています。この本の中で、フルガムは「人生に必要な知恵」とは、「人はどのようにふるまい、どんな気持ちで日々を送ればいいのか」ということだと書いています。もっと具体的に書いていることを、一部紹介します。

何でもみんなと分け合うこと。	ずるをしないこと。
人をぶたないこと。	使ったものは元の所に戻すこと。
人のものに手を出さないこと。	誰かを傷つけたら、ごめんなさい、と言うこと。
食事の前には手を洗うこと。	
毎日、少し勉強し、少し考え、少し絵を描き、歌い、踊り、遊び、そして、少し働くこと。	
不思議だな、と思う気持ちを大切にすること。 等	

「人生に必要な知恵」とは、特別なことではなく、当たり前のことばかりです。幼稚園の砂場は例えですが、中学生も、大人になっても同じように知っていなければならないことばかりです。しかし、この当たり前のことが今の生活でできていますか。新型コロナの影響で、これまで普通に行われていた学校行事が延期や中止になり、友達の新しい一面を見つけることも、行事を通じたクラスづくりもできていません。合唱や部活動、グループ活動など、これまで学校で当たり前のようにやってきたことができない今、「ごめんなさい」や「ありがとう」という当たり前の言葉さえも忘れていませんか。夏休みを前に、一度振り返ってみてください。

誰もが学校に行きたいと思う南中を目指して、2週間という短い夏休みですが、ほんの少しでも気持ちをリフレッシュして、2学期を迎えましょう。

○ 3年生 代替大会

東京都中学校体育連盟では、新型コロナウイルス感染拡大を受け、令和2年度第59回東京都中学校総合体育大会（夏季）を中止としました。3年生にとって中学校の部活動を締めくくる活躍の場が失われたままのため、東久留米市内を基本に、競技ごとに代替大会を開催しています。

サッカー部	7月24日	優勝
バレーボール部	7月25日	準優勝
ソフトテニス部	8月1日	ベスト8

○ 夏季休業中の電話対応時間

東久留米市立学校では、平成31年度より学校教員の働き方改革に向けた取組の1つとして、自動音声応答を行っております。夏季休業中の電話対応時間は、

平日 8時15分～16時45分

それ以外の時間は電話対応できませんので、緊急の場合は、東久留米市教育委員会にご連絡ください。

また、学校からの緊急連絡は、PTAメールと学校ホームページによりご連絡いたします。

○ 今年度、離任された先生方からメッセージをいただきました。

技術科 柿崎 豊

新型コロナウイルスの影響で、学校を取り巻く環境が大きく変わってしまいました。離任式もなくなり、直接お別れの挨拶ができなくなりとても残念です。

でもそれ以上に生徒の皆さんは、長く休業日が続き、ようやく学校生活が始まっても運動会や部活動の大会を初め、多くの行事が中止や延期となるなど、とても辛く、また悔しい思いがあると思います。そんな中でも南中の皆さんは元気にたくましく学校生活を送っていることと思います。

文句を言っても、愚痴をこぼしても何も状況は変わりません。現状のいろいろな制約がある中で、いかに楽しく生活していけるか、いかに自分を高めていけるか、そういった前向きな考えや行動が、今後の自分自身の成長にも大きく繋がると思います。今の厳しい状況もいつか懐かしい思い出となるはずです。笑顔とポジティブ思考を大切に、頑張ってください！

追伸：サッカー部の皆さん、先日はミニ市内大会優勝おめでとうございます。また、メッセージカードありがとうございました。特に3年生は、コロナの影響で2大会連続都大会出場の目標は絶たれましたが、部活動を通して創りあげた仲間との絆と思い出は一生の財産です。今回の悔しさは、これからのサッカー人生の中で取り返ししましょう。

英語科 瀧沢ちなみ

みなさん、お元気ですか。

離任式でみなさんに会って直接お別れを伝えることができず、心残りでしたが、メッセージという機会をいただきました。

私は今、大泉西中学校という練馬区の学校で、一年生の担任をしながら英語を全クラスに教えています。また、女子バスケットボール部の副顧問をし、元気に生活しています。

みなさんのことを思い返すと、懐かしい思い出がいっぱいになります。思いやりがあり、礼儀正しいみなさんのおかげで、私自身も楽しく過ごし、学ぶことが多かった5年間でした。離任して数か月の今でも、桜や銀杏の木が美しい校舎、みなさんが落ち着いて過ごす学校生活、明るくチーム一丸となっている先生方のことを思い出します。そのたびに「私も頑張ろう！」と勇気づけられています。人は、人とのつながりがあり、思い出があるからこそ頑張れ、勇気づけられるのだと思いました。

特に今は、人とのつながりが大切な時期だと思います。みなさんには、学年の仲間、家族、先生方など、心強い味方がたくさんいます。周りの人とのつながりを大事にした時間を過ごしてください。それがいつか思い出となり、自分の心の支えになると思います。

それでは、コロナに負けず、健康第一で過ごしましょう！！
Good luck !

国語科 千葉 一郎

お久しぶりです。千葉です。

昨年度の演劇部員と図書委員以外には余りなじみなかったかもしれませんが、産休代替教員として、1年間、南中で仕事をさせていただきました。

今、日本だけでなく、世界中が大変な時となってしまっています。穏やかな日常の有難さをつくづく思わされますね。辛抱我慢の中でも、自分にできることは何かを考えて、経験を積んでください。今の日本は空から爆弾が降ってくることもないし、世界の中で比べれば自由を享受できるのです。お互いに頑張りましょう。

中島みゆきの「時代」という歌を聞いてみてください。